慣用句(上級)プリント15

月　日　名前 _____

問1　「頭が上がらない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 寝違えてしまい頭が上がらない。
2. 熱が高くて頭が上がらない。
3. 恩人に対しては一生頭が上がらない。
4. 重い荷物を持ちすぎて頭が上がらない。

問2　「一泡吹かせる」の意味はどれですか？

1. 相手に大量の泡をかけて、ひどく困らせる
2. 相手の計画を事前に察知して、未然に防ぐ
3. 相手を説得して、自分の意見に同意させる
4. 相手を驚かせたり、慌てさせたりして、ぎゃふんと言わせる

問3　急な退職者が出たため、新しい人を雇って（　）を埋める。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 穴
2. 場
3. 席
4. 枠

問4　パーティーに音楽が（　）を添える。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 風
2. 花
3. 音
4. 光

問5　「腰砕け」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腰砕けの椅子に座ると、姿勢が悪くなるので注意が必要だ。
2. 重い荷物を持って歩いていたら、腰砕けになってしまった。
3. 転んで腰砕けになり、病院へ運ばれた。
4. 意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。

問6　こっそり（　）の下を渡して、自分に都合よくしてもらう。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 裾
2. 袂
3. 袖
4. 襟

問7　「腕自慢」の意味はどれですか？

1. 自分の技術や能力が優れていると誇ること
2. 自分の腕力を周囲に見せつけること
3. 自分の経験を過大に評価すること
4. 自分の仕事の速さを他人にアピールすること

問8　「見る目がある」の意味はどれですか？

1. 流行に敏感で、常に新しいものを取り入れる
2. 物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある
3. 人の性格を瞬時に見抜くことができる
4. 遠くのものまでよく見える視力を持っている

問9　「切羽詰まる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 宿題の締め切りが明日になって切羽詰まった状況になり、急いで仕上げた。
2. 喉に餅が切羽詰まってしまい、息ができなくなった。
3. 切羽詰まるほど、この料理は時間をかけて煮込んでいる。
4. 学校のプリントが切羽詰まるほど大量に積み上がっている。

問10　「二の舞を演じる」の意味はどれですか？

1. 一度成功したことをもう一度再現する
2. 舞台で二番目の出し物を披露する
3. 前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す
4. 他人の真似をして滑稽な振る舞いをする

問11　「目がくらむ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 太陽を直視して、目がくらむほど眩しい光を感じた。
2. 目がくらむような高さのビルから、地上をじっと見下ろした。
3. あまりの美しさに目がくらんで、しばらく言葉を失った。
4. 大金に目がくらんで、彼は一生の信頼を失う決断をした。

問12　「膝を突き合わせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 格闘技の試合で、相手の膝を突き合わせて攻撃した。
2. 満員電車で隣の人と膝を突き合わせて座った。
3. 将来の進路について、家族で膝を突き合わせて話し合った。
4. 膝を突き合わせて歩くと、足が絡まって転びそうになる。

問13　「水を打ったよう」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 突然の発表に、会場は水を打ったようになった。
2. 水を打ったような騒ぎで、近所迷惑になっている。
3. 彼は水を打ったような顔をして、何も言わなかった。
4. 庭に水を打ったようで、とても涼しい気分だ。

問14　舞台のクライマックスで（　）を切る。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 見物
2. 見当
3. 見聞
4. 見得

問15　「口を開く」の意味はどれですか？

1. 食事をするために口を大きく開ける
2. 今まで黙っていた人が話し始める
3. 秘密を誰かに漏らしてしまう
4. 驚いて言葉を失ってしまう

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント15　答え合わせ・解説

問1　答え 3　恩人に対しては一生頭が上がらない。
「頭が上がらない」は、相手に頭が上がらない（恩義や引け目があって対等に振る舞えない）という意味で使います。病気やケガなどで物理的に頭を持ち上げられないことには使いません。

問2　答え 4　相手を驚かせたり、慌てさせたりして、ぎゃふんと言わせる
「一泡吹かせる」は「相手を驚かせたり、慌てさせたりして、ぎゃふんと言わせる」という意味です。

問3　答え 1　穴
「穴を埋める」の「穴」の部分が入ります。 意味は「欠員や不足分を補って、全体の状態を元通りにする」です。

問4　答え 2　花
「花を添える」の「花」の部分が入ります。意味は「物事に華やかさや趣を加えて、より一層引き立てる」です。

問5　答え 4　意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。
「腰砕け」の正しい使い方は「意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。」です。 意味は「勢いよく始めたことが、途中で弱まってしまうこと」です。

問6　答え 3　袖
「袖の下」の「袖」が入ります。「袖の下」とは、自分に都合よくしてもらうために、人にこっそり渡すお金や品物（わいろ）のことです。

問7　答え 1　自分の技術や能力が優れていると誇ること
「腕自慢」は「自分の技術や能力が優れていると誇ること」という意味です。

問8　答え 2　物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある
「見る目がある」は「物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある」という意味です。

問9　答え 1　宿題の締め切りが明日になって切羽詰まった状況になり、急いで仕上げた。
「切羽詰まる」の正しい使い方は「宿題の締め切りが明日になって切羽詰まった状況になり、急いで仕上げた。」です。意味は「物事が差し迫って、どうにも逃げ場がなくなる・追い詰められる」ことです。

問10　答え 3　前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す
「二の舞を演じる」は「前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す」という意味です。

問11　答え 4　大金に目がくらんで、彼は一生の信頼を失う決断をした。
「目がくらむ」の正しい使い方は「大金に目がくらんで、彼は一生の信頼を失う決断をした。」です。「欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなる」ことや「強い光や高い所を見てめまいがする」ことを表します。とても嬉しいときは「目を輝かせる」、速すぎるときは「目が回る」を使います。

問12　答え 3　将来の進路について、家族で膝を突き合わせて話し合った。
「膝を突き合わせる」の正しい使い方は「将来の進路について、家族で膝を突き合わせて話し合った。」です。 意味は「向かい合って、本音でじっくり話し合う」です。

問13　答え 1　突然の発表に、会場は水を打ったようになった。
「水を打ったよう」の正しい使い方は「突然の発表に、会場は水を打ったようになった。」です。 意味は「大勢の人が急に静まり返る様子」です。

問14　答え 4　見得
「見得を切る」の「見得」の部分が入ります。 意味は「歌舞伎で動きを止めてポーズをとる。また、自信ありげに大げさな態度をとる」です。

問15　答え 2　今まで黙っていた人が話し始める
「口を開く」は「今まで黙っていた人が話し始める」という意味です。